



日本を護る会 レポート

日本の伝統・精神の次世代への継承

第 45 号(令和 4 年 12 月)

理事長挨拶：

コロナ禍も少し収まりつつあるようですが、当会は未だこの影響を受けて活動が制限されたために 9 月のレポートを発行できませんでしたので、今回のレポートは 9 月分を含めて 10 ページ構成となりました。今年 2 月に始まったロシアによるウクライナ侵攻が世界に大きな衝撃を与えると共に我が国の防衛体制の再確認も重要な課題となりましたので、10 月と 11 月の定例会では海自と陸自の防衛計画担当の現職自衛官に我が国防衛について貴重な講演をして戴きました。今後も我々の祖国である日本を護る事の意義を追求して活動したいと思いますので皆様の積極的な御意見を戴きたくお願いします。

来る年が皆様にとって実りある良い年をなります事を心からお祈り申し上げます。

理事長 大橋 武郎

第97回 定例会

演題：「日本人に帰れ」出光 佐三の人生と日本精神

講師：奥本 康大氏

日時：令和4年7月16日 18時～ 於：銀座サロン・ド・ジュリエ(Salon de Juliet)

「日本を護る会」は 7 月の定例会に奥本康大氏をお呼びし以下の講演をお願いしました。主題の出光佐三氏は福岡出身で明治 18 年（西暦 1885 年）8 月生まれ昭和 56 年（1981 年＝95 歳）に亡くなられた出光興産株式会社の創始者にして民族系の大石油会社に育てた大経営者です。近年小説家百田尚樹氏の小説「海賊と呼ばれた男」の主人公に模され一層有名になりました。講師は実際に出光興産に勤務され出光佐三氏の警咳に接しました。そしてこの小説に違和感を持ちぜひ同氏の真の姿を紹介したいと活動しておられその一環として当会でもお話し頂くことになったものです。



講師略歴

昭和 25 年生 72 歳 現役時代は出光興産株式会社に勤務。父、奥本 實は昭和 17 年 2 月 14 日インドネシア・パレンバン奇襲作戦に参加して功績を挙げ、昭和天皇に単独拝謁を賜った元軍人（終戦時陸軍大尉）。現在は保護司、調停委員として社会貢献に従事。「空の神兵」顕彰会を主宰し、正しい戦争の歴史を後世に伝えるべく講演会、勉強会の開催ならびに慰霊碑、顕彰碑、記念碑の建立活動に取り組んでいる。

概要

☆出光佐三氏の人となり

八紘為宇、七生報国を旨とし大東亜共栄圏を信じて国に貢献すべく働いた。出光興産の創業・発展に貢献したのみならず関門トンネル建設、宗像大社の修復、福岡教育大学創設等の社会事業に協力を惜しまず陰徳を積んだ偉人である。海賊と呼ばせては いけない。皇室を崇拝し国旗掲揚と皇居遥拝を怠らなかつた。95 歳で逝去した際には昭和天皇がその死を悼んで御製を詠まれた数少ない民間人の一人である。

くのために ひとよつらぬき つくしたる きみまたさりぬ さびしとおもふ

☆出光興産の創業と発展

一戦前

社員数名の商店で日本石油の代理店としてスタートし同業者の妨害に堪え外国石油会社のカルテルとの攻防を経て成長して行った。国への貢献を旨とし戦時中は陸海軍に協力、南方で確保した石油の配送業務に従事した。日本の敗戦に際しては玉音放送を聞いて日本再建を決意 60 歳（還暦）で借金 250 万円と 1,000 名の従業員を抱えて再出発した。引き上げてくる社員を全て引き受け人減らしは決してしなかった。

一戦後

ラジオの修理とタンク底油の回収から出発した出光は GHQ 行政の横暴や海外石油資本（セブンシスターズ）との闘いに屈すること無く昭和 24 年石油の元売り会社として指名を得ることに成功した。自前のタンカーを建造して石油の輸入を開始、昭和 28 年には有名な日章丸事件が起きる。石油国有化により英国海軍に封鎖されたイランに日章丸を派遣、拿捕され石油を没収される危険をおかしながらこの封鎖網を突破、石油を日本に持ち帰ることに成功したのである。これは単に商売のみならず英国の圧迫下苦しむイランを助けるという義侠心によるものでもあった。

一和製メジャーへの発展

やがて戦後の復興も加速化し高品質化と価格低下の波に晒されながら品質向上とコストダウンに努め競争力を向上させていった。昭和 32 年には当時日本最大の徳山に製油所を完成すると次々に製油所を建設し昭和 50 年に国内最後となる愛知製油所を完成した。出光は原油の輸入から精製そして販売を一貫して扱う和製メジャー石油会社に成長したのである

その経営理念

人間尊重・大家族主義、互譲互助、簡素・強力な体制と消費者本位の経営に徹した。労働組合を許さず社員と家族を守り馘首は決して行わなかった。士魂商才を唱え、三方良しの取引、奉仕の精神を重んじ日本型の経営を作り上げた。学歴偏重を嫌い卒業証書を捨てよと唱え 以下を社内の約束事とした。

- 一定年制度がない
- 馘首がない
- 出勤簿がない
- 残業手当がない

更に金の奴隷、学問の奴隷、組織・機構の奴隷、権力の奴隷、数理論の奴隷、主義の奴隷、モラルの奴隷になると戒め自由な発想と行動を奨励した。昭和 56 年 3 月 7 日 95 歳でその信念の生涯を閉じた。



第98回 定例会

演題：「海上自衛隊における現状と課題～ハイブリッド海上防衛力の構築に向けて」

講師：1等海佐 横田 和司 海上幕僚監部防衛部防衛課長

日時：令和4年10月22日 14時～ 於：銀座サロン・ド・ジュリエ (Salon de Juliet)

講師略歴：



平成9年 防衛大学校第41期卒業

平成10年 海上自衛隊幹部候補生学校

平成30年 米海軍大学国家安全保障戦略学修士

平成26年 護衛艦きりさめ艦長、海幕先任副官などを歴任し、
米海大指揮課程留学後、

平成30年 8月 海上幕僚監部指揮通信班長

令和元年12月 第8護衛隊司令

令和2年12月 海上幕僚監部防衛調整官

令和4年 3月 現職（海上幕僚監部防衛部防衛課長）

徽章：水上艦艇と情報戦

講師の自己紹介：都立小石川高校出身、護衛艦「はるな」船務士時 平成11年3月23日能登半島不審船事案が起き、初の海上警備行動下令「はるな」・「みょうこう」・「あぶくま」が出動した。初の海上警備行動ということで、現場では立ち入り検査への準備等が進められている等報道されていたと思います。当時、私は任官後すぐの配置でしたが国民の皆さんの負託に応えるべく様々なことを考えながら任務を遂行しました。護衛艦「きりさめ」ではインド洋給油支援活動に従事しました。護衛艦「ひゅうが」では DAWN BLITS2013（日米統合訓練：米カリフォルニアでの統合実動訓練）に参加、護衛艦「ちょうかい」では弾道ミサイル防衛に従事、護衛艦「きりさめ」艦長では ANZAC100 周年記念に参加しました。第8護衛隊司令時には情報収集活動（中東）に従事しました。

※ANZAC100 周年記念：ニュージーランド軍団（ANZN）が WW I 大戦中のトルコのガリポリに上陸してから 100 周年を迎えるメモリアルイヤーとしている。「伊吹」による護衛の下、アルバニー港を出航しての 100 周年（2014 年）「アルバニー船団記念式典」への海自艦艇派遣に係る日本の意欲を歓迎した。

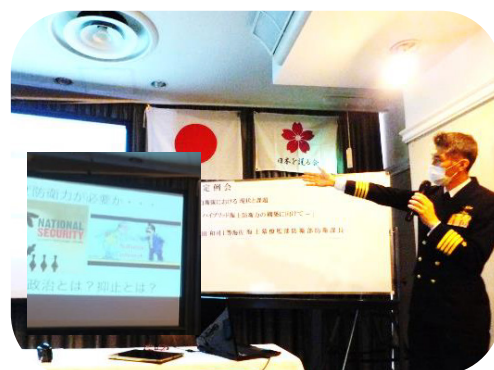
※情報収集活動：令和2年10月26日（月）第8護衛隊司令横田1佐、中東における第2次派遣情報収集活動の任務を無事に完遂して約5ヶ月ぶりに佐世保に帰国した。

このような難しい任務に従事した経験から「海上自衛隊の課題～ハイブリッド海上防衛力の構築に向けて～」を講演された。

1 なぜ防衛力が必要か・・・戦略の源流と防衛力についての一般的考察。

（戦略の源流の一例）

- スパイクマン : スパイクマン地政学（世界政治と米国の戦略
平和の地政学（アメリカ大戦略の原点）
- マッキンダー : マッキンダーの地政学
- マハン : シーパワー



2 国際政治とは

Better Peace・・・自国の国益を促進し守るためには、人間の紛争の歴史を紐解き、世界政治における紛争の一環した論理を追求し、1日でも長く紛争を抑止し、国家としての意志を貫く必要がある。

世界はアナーキーなのである。(世界は無政府状態)

無政府的国家システム：相対的凝縮性の高い国家達が構成要素

国家達の上に高次の政府がない(世界政府)

領土的国家システム

1968年以降のウェストファリア体制、古代ギリシャ、紀元前5世紀頃のインド、中国等

国際政治とは・・・共通の主権者の存在しない状態において、自らより上位の支配者を持たない政治体の間で行われる政治である。

3 我が国が直面している課題

(1) 安全保障環境の変化

大国間競争が国際的な安全保障環境に影響している。

リムランドを制する者はユーラシアを制し、ユーラシアを制する者は世界の命運を制する。

ニコラス・J・スパイクマン(1893-1943)：中国の台頭を予見：両生類国家。日本を打ち負かした場合、世界の覇権を握る。

抑止するには・・・

“恐怖を通じて相手を思い止まらせる”がスタート
バランスオブパワー(勢力均衡)

核の脅威による抑止(相互確証破壊)



| | |
|------------|----------------------|
| 懲罰的抑止 | ：コスト強要戦略 大量報復措置 |
| 利得拒否、拒否的抑止 | ：利得拒否戦略、ミサイル防衛等 |
| テラード抑止 | ：敵の価値観に影響力を与えて抑止(テロ) |
| 封じ込め | ：外交・軍事手段・経済手段、攻撃・防衛的 |

(2) 戦い方の変化

世界では、ウクライナ等での事象を見てもわかる通り、極超音速兵器の出現、サイバー空間の広域化(サイバー戦)及び情報戦が発達したため、戦い方が大変化しつつあります。

4 防衛力の抜本的強化

[防衛費の対GDP比] 日本：1.09% 米国：3.12% 韓国：2.57% 豪：2.05% 仏：1.92%

であり、今後、我が国防衛に必要な防衛力整備のためしっかりと検討をしなければならない。

*核の脅威については、米国の拡大核抑止をもって対応し、信頼性を向上させる。

*核以外あらゆる行動に対応することを念頭に、7つの柱で防衛力を抜本的に強化する。

【防衛力を抜本的に強化する7つの柱】

① 我が国への侵攻そのものを抑止

| | |
|------------|--|
| スタンド・オフ防衛力 | 脅威圏の外からの対処を行うためのスタンド・オフ火力等の必要な能力を獲得 |
| 総合ミサイル防空能力 | ミサイル防衛に係る各種装備品に加え、従来、各自衛隊で個別に運用してきた防空のための各種装備品も併せ、一体的に運用する |

② 万一の抑止が破られた場合には、非対称な優勢を確保して相手を阻止・排除

| | |
|-------------|---|
| 無人アセット防衛能力 | 無人装備も活用しつつ、わが国周辺海空域において航空機や艦艇等の目標に対する常続監視を広域にわたって実施 |
| 領域横断作戦能力 | 全ての領域における能力を有機的に融合し、その相乗効果により全体としての能力を増幅させる領域横断作戦により、個別の領域における能力が劣勢である場合にもこれを克服 |
| 指揮統制・情報関連機能 | 高度な指揮通信機能を保持し、統合的な観点も踏まえて防衛力の有機的な運用を迅速かつ適切になし得る |

③ 迅速かつ粘り強く活動

| | |
|---------|--|
| 機動展開能力 | 島嶼部に対する攻撃に対しては、安全保障環境に即して配置された部隊に加え、侵攻阻止に必要な部隊を速やかに機動展開し、海上優勢及び航空優勢を確保しつつ、侵略を阻止・排除 |
| 持続性・強靱性 | 即応性、機動性、柔軟性、持続性及び多目的性を備え、軍事技術水準の動向を踏まえた高度な技術力と情報能力に支えられた動的防衛力を構築 |

上記に加え、共通基盤として・・・

- 防衛力そのものである防衛生産・技術基盤に加え、防衛力を支える人的基盤等の要素も重視
- さらに、同盟国である米国や、自由で開かれたインド太平洋という考え方を共有するパートナー国等との協力・連携を深化・発展させ、我が国の防衛力と相まって、抑止力をさらに強化



この防衛力によって、力を背景とした一方的な現状変更も抑止

5 終わりに

国としての努力の結集 **DIME** の重要性を認識する必要がある。

例えば、様々な国の取り組みを **DIME Strategy** に当てはめてみると・・・

D : 外交 AIIB 多国間会議 オセアニア進出 アフリカ進出
I : 情報
M : 軍事 宇宙強国 空天一体 攻防装備
 近海防御 遠海防衛 情報化局地戦での勝利
E : 経済 一帯一路 国家資本主義 エネルギーシルクロード デジタルシルクロード

*台湾海峡の安定は我が国にとって死活的に重要である。バシー海峡やマラッカ海峡など様々な海峡を通過するシーレーンが我が国を支えているが、例えば、一つの海峡でも通れなくなると、我が国に輸送する原油や食料は通常よりも数十日遅延する。

* 海上自衛隊は、我が国の防衛のため常に ALWAYS DEFENDING、ALWAYS ON WATCH で洋上で活動しています。

質疑応答



懇親会



第99回 定例会

演題：「陸上自衛隊の概要と将来の戦い方」

講師：1等陸佐 北大蔵 陸上幕僚監部防衛部防衛調整官

日時：令和4年11月26日 15時～ 於：銀座サロン・ド・ジュリエ (Salon de Juliet)



講師略歴：

愛媛県松山市出身
平成8年 防衛大学校第40期卒業
平成9年 陸上自衛隊入隊陸上自衛隊幹部候補生学校第9高射特科大隊
平成17年第4次イラク復興業務支援隊
平成25年陸上幕僚監部防衛部防衛課
平成29年統合幕僚監部防衛計画課業務計画班長
令和1年第2高射特科群長
令和3年現職に就任

陸上自衛隊の現状と、我が国を取り巻く安全保障環境、陸上自衛隊の活動と取り組み、将来の陸上防衛力の方向性についてご講演をしていただきました。

1 陸上自衛隊の概要

(1) 陸上防衛力の特性及び意義

○陸上防衛力の特性

- ・直接性：国民及び生活基盤が存在する領域での行動
- ・抗堪性・持続性：自己完結能力により地域を確保
- ・柔軟性：いかなる状況においても柔軟に対応

○陸上防衛力の意義

国民に近く、各種の脅威から直接的に国民を守り、民心安定に寄与。抗堪性・持続性を有し、強靱な作戦を継続、多様な戦力を組み合わせ、あらゆる作戦環境に適応

(2) 組織の編成

内閣総理大臣の指揮下、陸上総隊司令官と5人の方面総監をもって陸上総隊、各方面隷下の部隊を指揮

(3) 陸上自衛隊の各部隊の配置

編成定数約15.9万人、常備自衛官約15.1万人、全国に134ヶ所の駐屯地及び29ヶ所の分屯地が所在

(4) 方面隊、師団・旅団について

○方面隊：担任地域内の作戦を主宰し、師団・旅団に必要な支援、自治体と連携し募集・援護、予備自衛官等の招集を担当

○師団・旅団：作戦・戦闘における運用単位、状況に応じ機動展開して他方面隊に転用

(5) 陸上自衛隊の職種

陸上自衛隊には現在16コ職種があり、各々の特性を發揮しつつ、様々な組み合わせにより各種事態へ柔軟に対処、「戦闘職種」、「戦闘支援職種」、「後方支援職種」の3区分

(6) 陸上自衛隊の装備品

「戦闘装備」、「戦闘支援装備」、「後方支援装備」の3区分、国産の装備品を多数保有

2 我が国を取り巻く安全保障環境

(1) 全般

国際社会は戦後最大の試練の時を迎え、既存の秩序は深刻な挑戦を受け、新たな危機の時代に突入。欧州で起きている事はインド太平洋においても生起し得るものであり、武力攻撃が生起しているか否かを問わず、我が国が直面する安全保障上の課題は深刻化している。

- (2) 我が国周辺
 - 我が国は、国際安全保障の焦点であるインド太平洋の最前線に位置している。
 - 米中の戦略的対峙により、南西諸島を含む第一列島線が地政学的に焦点になっている。
- (3) 周辺国の動向
 - ロシアによるウクライナ侵略は力による一方的な現状変更であり、国際秩序の根幹を揺るがす深刻な課題
 - 中国は、力による一方的な現状変更やその試みを継続し、ロシアとの連携も深化。さらに、台湾統一には武力行使の放棄を約束しない構え
 - 北朝鮮は、弾道ミサイルの発射を繰り返しているほか、核実験の準備を進めているとされ、国際社会への挑発をエスカレート

3 陸上自衛隊の活動と取組み

- (1) 陸上防衛構想：領域横断作戦を支える陸上防衛力を構築して、各種事態に実効的に対処
- (2) 即応態勢・各種災害等への対応
 - 国内での災害発生に常時即応するため、初動対処部隊（FAST-Force）を指定
 - 在外邦人等輸送/保護、国際緊急援助活動、国際平和協力活動に向けた国際任務への対応のため、平素から待機態勢を維持
 - 各種災害等への対応
 - 地震災害、土砂災害、火山災害、台風被害、感染症等に対する災害派遣活動等を実施し、国民生活、安心に寄与
- (3) 有事への備え
 - 各種訓練・演習の実施を通じ、任務遂行能力及び運用の実効性向上を図り、抑止力・対処力を強化
 - 「令和3年度陸上自衛隊演習」において出動準備訓練、機動展開等訓練、出動整備訓練、兵站・衛生訓練、システム通信訓練を実施し、即応性及び作戦運用の実効性を向上
 - 統合演習：自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図ると共に我が国の防衛に係る堅固な意思を表明（水陸両用作戦、対艦戦闘、空挺作戦、機動展開）
- (4) 日米同盟による抑止力・対処力の強化
 - 米陸軍及び米海兵隊との共同訓練による相互運用性の向上に努め、我が国周辺における抑止力・対処力を向上
- (5) 各国との共同訓練
 - モンゴル（カーン・クエスト[多国間訓練]
 - インド（ダルマ・ガーディアン）：インドにおける印陸軍との実動訓練
 - オーストラリア（サザンジャッカル）：豪州における米豪軍との実動訓練
 - イギリス（ヴィジラント アイルズ）：英陸軍との実動訓練
- (6) 民生支援等
 - 自衛隊大規模接種センター運営
 - 東京オリパラ競技大会協力支援
 - 防災訓練への参加
 - 札幌雪まつり支援



4 望ましい安全保障環境の構築のための取組み（能力構築支援等）

- PKO等
 - 1992年国際平和協力法制以降、国際平和維持活動等への人的協力を実施
- 能力構築支援
 - 陸上自衛隊が有する能力を活用し、各国の能力向上を支援することにより、当該国軍の自立性・強靱性の強化、及び地域の安定に貢献



5 将来の陸上防衛力の方向性

- (1) 将来作戦上の課題
 - 事態の深刻化の抑止
 - 作戦様相の変化への対応

- ミサイルによる飽和攻撃等への対応
 - 南西地域への機動展開
 - 主要都市・作戦基盤の防護
 - 意思決定の優越の獲得
 - (2) 将来の防衛力の方向性
 - 抑止力・対処力の拡充
 - 望ましい安全保障環境の構築
 - 人的・物的基盤の拡充
 - (3) 陸上防衛力強化の4つの柱
 - 領域横断作戦能力の強化
 - スタンド・オフ防衛能力の強化
 - 迅速かつ分散した機動展開能力の強化
 - 持続性・強靱性の強化
- これら4つの柱を強化することにより陸上防衛力のイノベーションを推進

将来の陸上防衛力の方向性

陸上防衛力強化の4つの柱

将来の陸上防衛力の方向性：全般

| 将来作戦上の課題 | 将来の防衛力の方向性 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事態の深刻化の抑止 事態の深刻化を抑止するため、抑止力となり得る防衛力の保持が必要 ➢ 作戦様相の変化への対応 従来のハイエンドな事態に加え、いわゆる「ハイブリッド戦」への対応が必要 ➢ ミサイルによる飽和攻撃等への対応 飽和攻撃からの生存を図りつつ、早期かつ遠方から阻止し得る体制構築が必要 ➢ 南西地域への機動展開 実効的な抑止・対処態勢の確立のため、迅速な機動展開能力の保持が必要 ➢ 主要都市・作戦基盤の防護 我が国防衛に係る作戦の遂行・継続のため、主要都市や重要施設、基地・駐屯地等の作戦基盤の防護が必要 ➢ 意思決定の優越の獲得 作戦様相の複雑化・高度化に伴い、平素の段階から、意思決定の優越を確保することが必要 | <p>抑止力・対処力の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 陸上防衛力の強化（4つの柱） <ol style="list-style-type: none"> ① 領域横断作戦能力の強化 ② スタンド・オフ防衛能力の強化 ③ 迅速かつ分散した機動展開能力の強化 ④ 持続性・強靱性の強化 ➢ 日米同盟による抑止力・対処力の強化 <p>望ましい安全保障環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の維持・強化 ➢ 在外邦人の安全確保 ➢ 国際安全保障環境の改善 <p>人的・物的基盤の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人的基盤の強化 ➢ 物的基盤の強化 |



質疑応答



懇親会



第14回定時総会開催される

第14回定時総会が令和4年9月17日（土）に当会の事務局のあるグランボン社の会議室において開催されました。今回はコロナ禍の中、例外的に会員の皆様には出席をご遠慮願ひ、委任状・議決権行使書の提出を以って総会定足数を満たした上で全議題の承認を頂き無事終了しました。本年は役員の変更期ですが全ての役員は重任となりました。また新たに矢島寛三氏（元海将補）が選出され、より充実した役員構成となりました。

忘年会開催される

12月14日（水）に今年最後の理事会が行われましたがその後に忘年会が開催されました。池袋のちゃんこ鍋や「蔵之介」にて役員を中心に、久しぶりにお会いできた方、新しくお目に書かれた方など多彩なメンバーを加えて、「日本を護る会」の意義を再確認、また今後の活動の在り方などを語り合い、大いに盛り上がり来年の会員の益々の発展と会の隆盛を誓ってお開きとなりました。

事務局からのお知らせ

- * 新しいパンフレットが完成し会員の皆様のお手元に届いたことと存じます。今後の当会を発展させるためには会員を増やしていくこと、活動の一層の充実を図ることが肝要と思われまふ。そのためには当会の宣伝を積極的に行ふこと、また必要となる資金を増やすことが欠かせません。今後増刷を致しますのでこのパンフレットを大いに活用していただきたく考えまふ。また認定取得に伴ひ、寄付を行う個人、法人にとって税額の控除が受けられるという利点をわかりやすく説明した資料、振替払込用紙などを入れてパッケージ作成の準備を進めていまふ。皆様方、お知り合ひ、または法人に広くご協力を頂けまふように皆様のお力添えをお願いいたしまふ。

事務局では受付、経理、雑務などどんな仕事でも結構ですでお手伝いをいただける方を求めています。可能な方は事務局にご一報ください。ホームページ、フェイスブックの扱ひなどが得意な方は大歓迎です。会の運営に皆様のお力が必要でふ。

今後の予定

- * 新年初詣
日時：令和5年1月7日（土） 11時30分
場所：芝大神宮（参加人数は20名限定）
- * 第100回定例会を3月に開催予定
原則、メールにてお申し込み下さい。

<年会費お支払いのお願い>

本年度の会費を未払いの方は早急にお振込みいただきたくよろしくお願ひいたしまふ。

年会費お振り込み先

ゆうちょ銀行

店番号 038 普通預金 記号10380 番号92589171
口座名義 トクヒ) ニホンヲマモルカイ

日本を護る会・レポート 第45号 令和4年12月発行
編集発行: 認定特定非営利活動法人 日本を護る会
ホームページ : <http://awake-japan.sakura.ne.jp>
E-mail : awake-japan@googlegroups.com